

大相模調節池水辺活用調整協議会 第3回協議会 会議録（要旨）

1 日時

令和4年（2022年）7月20日（水）午後4時から午後5時30分まで

2 会場

水辺のまちづくり館 大会議室

3 出席者

大相模自治会連合会、レイクタウン北自治会、レイクアンドピース株式会社、
特定非営利活動法人越谷ふるさとプロジェクト、
特定非営利活動法人セイラビリティ越谷、一般社団法人越谷市観光協会、
越谷商工会議所、埼玉県河川環境課、埼玉県越谷県土整備事務所、
埼玉県東部地域振興センター、越谷市公園緑地課、越谷市経済振興課（事務局）

4 オブザーバー

イオンモール株式会社

5 内容

①都市・地域再生等利用区域の指定について

5月27日付で越谷市から埼玉県に要望書を提出し、6月24日付で埼玉県知事の指定があった旨を事務局より説明した。

<意見なし>

②施設使用候補者の募集結果について

募集スケジュール、選定結果を事務局より説明した。

オブザーバーのイオンモール株式会社及び連携先事業者のレイクアンドピース株式会社より、企画提案の概要を説明した。

<主な意見等>

委員 大相模調節池が水害対策を主な役目としていることについてはどう考えているか。

事務局 治水機能や防災機能が最も重要である考えのもと今回の提案が為されている

と認識している。今後施設の整備や利用についての検討が進む中で、それらの機能を損なわないことを前提に具体的な計画を作っていく。

委員 「にぎわい」が経済活動だけでなく、大相模調節池の自然や生き物との共存・共生について言及されているとよい。

事務局 今回の企画提案では、今後の可能性も含めて様々な事業提案があったと認識している。今後、市、県、施設使用候補者で具体的な事業計画を練っていく中でワークショップや協議会でそれぞれの分野についてご意見を伺い、必要性を感じた取り組みは計画に入れさせていただく。

委員 現状の大相模調節池周辺は東屋などの緑陰が少ないと感じている。店舗利用でない人たちが来て良かったと感じられる施設の整備を考えてもらいたい。

事務局 募集要項でも、緑地部分を含めどのように居心地のよい施設をつくるかを入れている。その点は今後の課題として整理し、継続的に検討していく。

委員 今後の具体的なスケジュールを教えてください。

事務局 施設使用候補者が決定したので、まずは施設使用契約に向けて基本協定を締結する。また、本事業は施設整備も含め規模が大きく、開発等の手続きも要する。若干の前後はあると思うが、概ね今年度中に施設の基本計画や測量を行い、来年度以降、設計や工事とあわせて事業全体の事業計画を作り上げていく。現状では、令和7年度中の施設オープンを目途に事務局で協議を進めている。

委員 事業が進む中で地域の声が届かなくなってしまうことは心配である。地域に対する一方通行の情報提供だけでなく、地域の意見が取り入れられる仕組みが大切と考える。

事務局 各事業の具体化をすることや、何をどこで誰がやる、どのような人を巻き込み、どのようなコミュニティをつくっていくかについて、事業計画の作成時に限らず、事業開始後も醸成していくものもあるかと思う。これから作り上げていく部分が大きい事業なので、地域の皆さんを巻き込みながら進めていきたい。

委員 施設完成までは時間がかかるので、その間に社会実験などに取り組んでいただき、最終的にみんなが望むものが出来上がればよいと思う。

③今後の事業の進め方について

今後、市と施設使用候補者による基本協定の締結、地域との意見交換、社会実験（イベント等のソフト事業）などに取り組んでいくことについて、事務局より説明。

■事務局から連絡

- ・第4回協議会については未定。取り組みの進捗に合わせ、事務局から適宜情報提供を行う。

5 配布資料

資料1 河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域の指定等について

資料2 施設使用候補者の選定について

資料3 （仮称）大相模調節池河畔 施設使用候補者募集要項